

# 夢のかけはし

誰もがいつまでも  
美しくいられるために。



昭和58年生まれ。串良商業高校卒業後に大阪府の美容室に就職し、14年間勤務した後、平成27年に帰鹿。福祉美容師の資格を取得後、「訪問福祉美容サービスなのはな」を起業。着付けで県代表として全国大会へ出場し、入賞した経験も持つ。(35歳)

「福祉美容師」とは、介護が必要な方や障がいのある方の自宅や病院、施設を訪問し、美容の施術を提供できる美容師のことです。私は平成29年にその資格を取得し、出張美容の活動を始めました。気をつけているのは衛生面と施術時間。1人あたりの時間の目安を15分とし、利用者の負担にならないよう短時間かつ丁寧に美容を施します。散髪やヘアカラー以外にも、ヘッドスパやハンドスパも提供しています。女性は特に、いくつになっても美しくいたいという気持ちがあると思います。髪を切った後などに、笑顔で「ありがとう」と喜んでもらえることが私の励みです。

子どもの頃から家族の髪を私が切っていたこともあり、高校卒業と同時に美容師の道を目指しました。県出身の方が営む大阪の美容室に就職し、働きながらの寮生活。美容室で修行する傍ら通信教育で学び、美容師の資格を取得しました。お店では店長まで任せてもらえるようになり、着付けやエステ、ネイル技術の習得、ボランティア活動など様々な経験をしました。福祉美容師のことを初めて知ったのは、帰鹿後に市内の美容室で働いていた時です。都会に比べ車の社会の鹿屋では、高齢者など自分で運転できない方は散髪にも送迎が必要な場合が多く、髪を切りたい時に美容室に行けない方が多い

## 福祉美容師

せした

# 瀬下りささん

と感じました。このような方たちのために何かできないかと考え、車いすの方や障がいのある方の目線などを学ぶ研修を受け、福祉美容師として個人での営業を始めました。初めは大変でしたが、施設の方からも「髪を切る負担が減ってありがたい」などと喜ばれるようになり、手応えを感じています。今後、お客様一人ひとりの様々な症状や状況に対応していくためには、まだまだ勉強と経験が必要だと思っています。介護などの専門の知識を持つ方などの意見や協力を仰ぎながら、誰もが安心して美しくなれるためのお手伝いをしたいです。



【右】何気ない会話でコミュニケーションをとりながら、手際よく仕上げていく。衛生面にも気を配りマスクは欠かせない。

【左】学んだ技術を生かして車いす利用者の着付けもやっている。



2月19日(火) 9時5分から FMかのや に瀬下りささんが出演